児童に見られるつまずき

　場面の様子について、想像を広げながら読むことができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　場面ごとに動作化をしながら、登場人物の会話をインタビュー形式で聞く活動や、登場人物の会話や気持ちをワークシートに整理させる活動を通して、登場人物の会話や気持ちを想像しながら読み取れるようにする

指導事例集ｐ．８７

１　学年・単元名　　第１学年　音読発表会をしよう

おおきなかぶ（読むこと）

２　単元目標

　　　・自分が読んだところから、すすんで感想を伝えたり、好きなところを音読で表現したりすることができる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（関心・意欲・態度）

・繰り返しの言葉や文章のリズムを生かして、音読することができるようにする。

（読むこと・ア）

　　　・場面の様子や増えていく登場人物について、想像を広げながら読むことができる。

（読むこと・ウ）

　　　・文中における主語と述語の関係に注意することができる。

　　　（国語の特質に関する事項）

３　本時の目標

　　　・かぶが抜けた場面の様子や登場人物（おじいさん・おばあさん・まご・いぬ・ねこ・ねずみ）の行動や気持ちを想像しながら読むことができる。

４　本時の展開

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点**太字：つまずきに対する手立て** |
| １　前時までの学習を振り返る。２　本時のめあてを確認する。かぶがぬけたときの　みんなのようすやきもちを　かんがえよう３　第８場面を音読する。４　ねずみを呼んでくる時のねこの気持ちを考えて発表する。５　ねずみが加わってかぶを引っ張る様子を動作化し、考えたことを発表する。　　・やっと　かぶがぬけたね。　　・６人だと　かぶがぬけたね。とっても　うれしいね。　　・ついに　かぶがぬけたぞ。　　・みんな　ありがとうね。６　かぶが抜けた時の様子や気持ちを考え、ワークシートに書いて発表する。ワークシート⑥使用　　・みんなの力で　ぬくことができた。ありがとう。　　・なんども　なんども　がんばったね。　　みんなで　なかよく　たべようね。７　第８場面を音読する。 | ○前の場面をふり返り、様子を確認する。ワークシート②～⑤使用○学習場面を確認し、登場人物も気持ちや場面の様子を想像しながら読むように促す。○前場面に学習したことを、ワークシートをもとに想起させる。ワークシート⑤使用○人物がどんな順序で登場するか確かめる。　　　「□が△をひっぱって…」○声の大きさやかぶを引っ張る動きに着目して、「うんとこしょ。どっこいしょ。」の言い方を考えさせる。**○動作化の後で、それぞれの人物にインタビュー形式で聞いていく。その際、児童の言葉と文中の言語表現を結び付けていくようにする。**○登場人物から一人選び、抜けた時に何と言ったかを考えさせる。**○他の場面のワークシートと比べさせることで、気持ちのうつり変わりに注目できるようにする。**ワークシート②～⑤使用○繰り返しやリズム、登場人物の動きに気を付けて音読するように声をかける。 |